



養魚組合主催マス釣り大会

経済効果が発揮できる 新たな観光計画の展開を



質問者
飯田 一 議員

昭和49年に農林水産省から自然休養村の指定を受けた寄地区の観光農業は、ここ数年かつての賑わいを失っていますので、次のことについてお尋ねします。

① 自然休養村の中核を担ってきた養魚組合の年商は、ピーク時の4分の1ほどになり厳しい状況が続いています。町としての支援策

は。

② 観光農業についても、今ひとつ進展がありません。緑を求める都会の方との結びつきを町がすべきと思うが、その方策は。

③ 寄自然休養村として、経済効果が発揮できるような新たな観光計画を展開するお考えは。

A 積極的な宣伝により
経済効果を高める
回答（町長）



① 組合独自に努力されつつあるが、

まだ経営改良に余地があると思われる。新たな事業展開による誘客を図る取り組みに対する支援と、商業活性化事業補助金を活用して積極的に支援していく。

② 寄地区の雇用や地域振興を図り、自然という特徴を生かし、今後は農産物販売施設の整備・地元農産物の加工販売など、祭りなどを

新規の町営住宅建設を



質問者
寺嶋 正 議員

通して地元で管理運営をしてもらい、地域の振興を図りたい。

③ 「ロウバイまつり」や「しだれ桜まつり」など、寄の自然と花を観光につなげ、農産物の加工品を直売できる施設の整備などを通して、経済効果を高めていくことが基本と考えている。

① 町は、籠場の町有地に新たな町営住宅の建設を予定している。居住者のニーズや建設戸数の把握、基本設計など着実な建設に向けた今後の取り組みは。

② 神奈川県緊急財政対策本部調査会（神奈川県）は、7月18日に

ることになる。実態把握と県民生活切り捨てに町は反対を表明し、要請行動をするべきである。

A 新規住宅の実施設計・
本体工事等を計画的
に進める
回答（町長）



① 23年度には、町営住宅建設基本設計の業務委託をした。仲町屋の9世帯と中丸住宅の4世帯の方々の移転先と考えており、14戸程度の住宅が建てられるよう設計した。

町の基本的な考え方や住宅の設計案など説明するとともに、移転予定者の意見、意向を伺っている。25年度以降、建物の実施設計や本体工事などを計画的に進める。

② 神奈川県臨時調の中間報告は、県西地区首長懇談会や担当課長会議で説明会が行われたが、全体が見えない。



町営住宅建設予定地(河内地区)

足柄上保健福祉事務所所の存続の是非についても議論がなく、未だに不明の状態にある。出先機関の統廃合・補助金の一時凍結については、町村会等で十分に議論して参りたい。